山形川西ダリヤ園開園50周年記念事業

ダリアフォーラム2010
in KAWANISHI

昭和35年9月の秋真っ盛り、国内で初めて観光型ダリアの園がオープンした。時を重ねて今年で半世紀。ダリアの変幻自在な魅力を全国の民に常に発信しダリアと共に生きてきた。山形県南の田舎町川西町のシンボルとして、あるいは住民の心のよりどころとして、そして、町の誇りとして守られてきた川西ダリヤ園。新たな50年に向けて第一歩を踏み出すために、全国のダリア関係者と共に、ダリアのこれから歩むべき道について、そして何をすべきか「熱く熱く」語ります。

参加者募集！

Ⅰ　テーマ　「ダリアの５０年、そして、未来へ」

Ⅱ　講　演　　山口　まり　氏（ＮＨＫ趣味の園芸講師）

Ⅲ　パネルディスカッション

　　鷲澤幸治氏（日本ダリア会理事長）、ダリア生産者

　　国内各ダリア園、川西町ダリヤ会　等

Ⅳ　第５６回東北ダリヤ名花展、同時開催（９月１８日～２０日）

Ⅴ　川西ダリヤ園５０年の歴史写真展、開催（９月上旬～）

期　日　　平成２２年９月１８日（土）
会　場　　山形川西ダリヤ園　等
主　催　　川西町、川西町観光協会
問合せ　　川西町観光協会
　　TEL０２３８－４２－２１１２

当日のスケジュール

時　　間	会場：園内特設ステージ
１３：３０～１４：００	フラワーアレンジメント実演（ステージ装飾）
１４：００～１４：１０	オープンセレモニー
１４：１５～１５：１５	講演：山口まり氏
１５：２０～１６：５０	パネルディスカッション
移　　動	会場：浴浴センターまどか

（講師等プロフィール）

◇　山口まり（やまぐち・まり）　氏

園芸家。千葉大学園芸学部を修了後、月刊「自然と盆栽」編集部勤務を経て、グリーンコーディネートの仕事に携わりながら、山野草などの栽培をはじめる。フラワーデザイナー、グリーンアドバイザー、ハンギングバスケットマスターの資格を取得。柏芳園を営むかたわら、花や緑を暮らしのなかで楽しむことを提唱し、「花を楽しむ教室」を主宰。ガーデニング講座の講師も務める。

現、日本ダリア会理事。昨年発行したダリア専門書「ダリア百科」では、編集の中心を担う。

ＮＨＫ趣味の園芸では「ダリア」担当の講師を担い、平成２２年７月１５日ＮＨＫ出版より「よくわかる栽培１２か月・ダリア」を発行。

（パネラープロフィール）

◇　鷲澤幸治（わしざわこうじ）　氏

秋田国際ダリア園代表（雄和国際ダリア園として１９８７年開園し本年で２４年目、現秋田国際ダリア園）及び品種改良家。現、日本ダリア会理事長。

２００４年フランスナショナルダリアショー外国部門で、育成品種「虹」がファーストグランプリ受賞。２００６年には日本ダリア協会理事長就任。２００９年日本フラワービジネス大賞２００８育種･生産部門大賞受賞する。

２００７年には、国内の花き市場に流通する切花・ダリアの年間取扱数量の４割以上が鷲澤幸治氏の育成した品種が占めている。

２００９年３月に日本ダリア会で５０年振りのダリア専門書「ダリア百科」を発行。

◇　鈴木千春（すずきちはる）　氏

神奈川県出身。㈱Ｆ・コミュニケーション代表。

花の流通・販売に関するコンサルティング、花に関するイベントやキャンペーンの企画・運営を行う。

文化女子短期大学部を卒業後、株式会社三越に入社、婦人子供用品部、店舗開発部門リニューアル担当、販売促進部にて花の催事の企画・プロモーションに携る三越ブライダルエクセレンスに於いて、ブライダルコーディネーターとしても従事。

退社後、３年間のフランス生活・研修を体験後に帰国。２００６年独立する。

◇　東京町田ダリア園　様

１９８５年開設、現在約１５０００㎡の園内に約５００品種、約４０００株のダリアを栽培。

町田ダリア園は障がい者の働く場として町田市が設置し、まちだ福祉作業所が運営しています。町田市と川西町は友好都市であり、川西ダリヤ園の姉妹園。

◇　青木督平　氏

ダリア切り花生産農家、ＪＡダリア部会会長。花市場の要請に応え全国に先駆け大輪ダリアの切り花の生産と出荷を果たし、花業界に一大ブームを起こした。

◇　川西町長　原田　俊二　氏

５０周年を迎える川西ダリヤ園は町が設置・運営する公設花園です。５０年の歴史に立ち、ダリアと共に歩む町として全国にダリヤの魅力を発信しています。